

第 13 回 ビー・ブラウンフォーチルドレン

「子どもの“こころ”と“からだ”の世界 ～ 幼児期の発達と遊びの中で育まれるもの」

日時： 2016年11月27日(日) 13:00 – 17:00

場所： ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 東京本社 6F

参加者： 7名(同伴のお子さまは、3Fの託児スペースでお預かりました。) + オブザーバー1名



【プログラム】

講師： 鈴木 泰代 先生 (精神科専門医) / 山田 清子 先生 (臨床心理士)



1) レクチャー 「子どものこころとからだの世界 ～ 幼児期の発達と遊びの中で育まれるもの」

- 子どもの心と身体の成長と共にどんな遊びをするようになるのか、その中で何を学んでいくのかを、1ヶ月の赤ちゃんから月齢/年齢に沿って確認していきました。遊びが子どもに与えてくれるものが、如何に今後の人生の糧になるかを知ることが出来ました。文献や、世界の子どもたちの様子も、画像で紹介されました。
- 「『親が子どもの人生全てを保証することは出来ません。でも、たくさん遊びをしてあげることが出来ると思います。』という先生の一言が胸に染み、子育てに対して楽な気持ちになれた。」「母が自分を思い切り遊ばせてくれていたとわかり、涙が出そうだった」等、参加者の方々は様々な思いを持たれたようです。

2) ワークショップ (ロールプレイ)

- 子どもと大人の絆を深めるプログラム「CARE」の一部を体験。2人一組で行うロールプレイで、「子ども」と「親」の両方の気持ちを感じてみました。「子どもに寄り添う」ということは、子どもの視線でその世界を感じるということ。1日5分だけでも、そんな時間をとることで、子どもとのよりよい関係を深めていけることを学びました。
- 「とても具体的な内容で、今日からでもすぐに実践したい」、「大人にも使えるスキル。主人の間でも行ってみたい」、「子どもにかけてあげたい言葉がたくさんあった」等の感想をいただきました。皆さんに、楽しみながら具体的なコミュニケーション方法を学んでいただけたようです。

3) フリートーク … お茶とお菓子をいただきながら、全員参加のトークタイム

- 参加者の皆さん一人一人に、幼いころの「遊び」について話していただきました。自分の幼児期を思い出したり、少し先の育児をしておいでの方の参加者の方の話に、自分の子どもの事を重ね合わせて想像したり、先生方の実体験なども交え、話題の尽きない楽しい時間を過ごすことができました。
- イベント全体に関しては、「子どもを預かって貰いながら、久々に自分の時間を持てた」、「リフレッシュできた」、「楽しみながら学び、子育てを見直す時間が持てた。」「また参加したい」等の感想をいただきました。そして、「主人も連れてきたい」、「夫婦一緒のイベントはいかがですか？」等のご提案も！ 有難うございました。

